

HP**JetDirect****Print Servers**

HP JetDirect 600N

ハードウェア インストール ガイド

EIO スロット付き HP プリンタ用

ハードウェア インストール ガイド

HP JetDirect 600N
プリント サーバー

© Copyright Hewlett-Packard Company 2000. 著作権所有

著作権法で許可される場合を除き、予め許可を得ることなく複製、改作、翻訳を行うことを禁止します。

出版物番号

5969-6864

第 1 版 2000 年 8 月

該当製品：

J3110A
J3111A
J3112A
J3113A

商標

Microsoft®、MS-DOS®、Windows®、Microsoft Windows NT®は Microsoft Corporation の商標、あるいは米国における登録商標です。NetWare® および Novell® は Novell Corporation の登録商標です。IBM®、IBM LAN Server®、Operating System/2® は International Business Machines Corp. の登録商標です。Ethernet は Xerox Corporation の登録商標です。PostScript® は Adobe Systems, Incorporated の商標で、特定の法域では登録商標場合があります。UNIX® は Open Group の登録商標です。

免責

本書に記載される情報は、通知なく変更することがあります。

HEWLETT-PACKARD COMPANY は、市場性や特定の目的への適合性に関する暗黙の保証を含め、本書についていかなる種類の保証も提供しません。

Hewlett-Packard 社はここに含まれる誤り、あるいは本書の供給、出来ばえ、あるいは使用に伴う偶発的あるいは必然の損害に関して責任を負いません。

カスタマ サポート

詳細については、HP オンライン・カスタマ・ケアを参照してください。URL は次のとおりです。

www.hp.com/support/net_printing

あるいは、本製品に付属の『クイック スタート ガイド』の「HP カスタマ サポート番号」を参照してください。


保証とサービス

保証とサービスの詳細については、本製品に付属の『クイック スタート ガイド』を参照してください。

HP 製品および交換部品に関する保証条件のコピーは、HP 販売サービス拠点、または正規代理店から入手できます。

安全性について

本製品のインストールと使用前には、安全性に関するすべての記号や説明をお読みください。

	マニュアルのシンボル。製品にこのシンボルが付いている場合は、製品の損傷を予防するため、製品のマニュアルを参照してください。
警告	傷害を招くおそれのある危険を表します。
注意	装置あるいはデータの損傷を招くおそれのある危険を表します。

危険を理解し適切な措置を講じるまで、警告あるいは注意から先に進まないでください。

接地。本製品は保護接地端子を持つ安全性クラス 1 製品にインストールします。主電源から、製品の配線端子、電源コード、あるいは供給される電源コードセットまで連続的接地が必要です。保護が損なわれる可能性のある場合は、接地が回復するまで電源コードを外しておいてください。

Hewlett-Packard Company

8000 Foothills Boulevard

Roseville, California

95747-6588

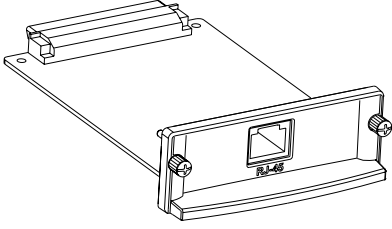
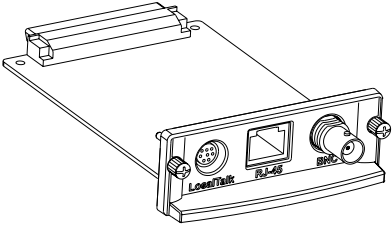
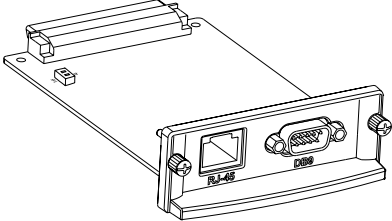
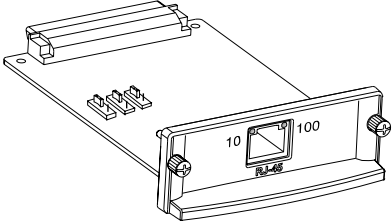
USA

簡易インストール

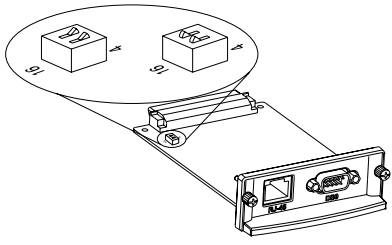
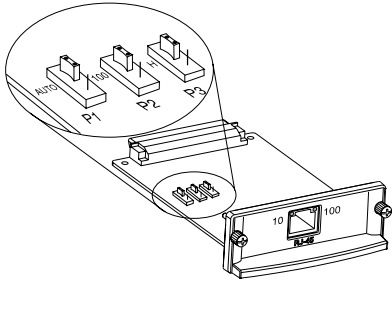
注記

詳細は第 2 章を参照してください。

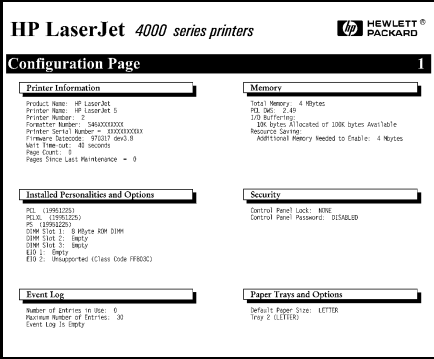
1. HP JetDirect 600N 内蔵プリント サーバーの種類を確認します。

	<p>Ethernet (10Base-T) ネットワーク用 HP J3110A</p> <p>RJ-45 コネクタ (非シールド ツイストペア ケーブル) が備わっています。</p>
	<p>Ethernet (10Base-T, 10Base-2) および LocalTalk ネットワーク用 HP J3111A</p> <p>RJ-45 コネクタ (非シールド ツイストペア ケーブル)、BNC コネクタ (同軸 ThinLAN ケーブル)、および Mini-DIN 8 コネクタ (LocalTalk コネクタボックス) が備わっています。</p>
	<p>Token Ring (IEEE 802.5) ネットワーク用 HP J3112A</p> <p>RJ-45 コネクタ (非シールド ツイストペア ケーブル) と DB-9 コネクタ (タイプ 1、2、または 6 のシールド ツイストペア ケーブル) が備わっています。</p>
	<p>Fast Ethernet (10/100Base-TX) ネットワーク用 HP J3113A</p> <p>RJ-45 コネクタ (非シールド ツイストペア ケーブル) が備わっています。100Base-TX には、カテゴリ 5 ケーブルを使用します。</p>

2. 必要に応じて、カード上のスイッチ、またはジャンプを設定します。

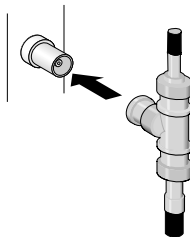
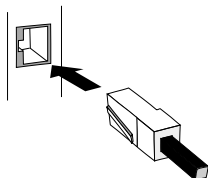
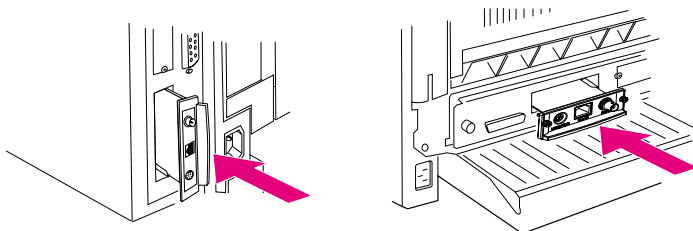
	<p>Token Ring カードがある場合</p> <p>Token Ring ネットワークは 4 または 16Mbps で動作します。ネットワークに合わせて、カード (J3122A) 上のデータ転送速度スイッチを 4 または 16 に設定します。設定が不明な場合は、ネットワーク管理者に問い合わせます。工場出荷時設定は 16Mbps です。</p>
	<p>10/100Base-TX カードがある場合</p> <p>10/100TX カード (J3113A) は、あらかじめオートネゴシエーション (ジャンプ P1) 用に構成されているため、カードは自動的に適切なスピード (10 または 100Mbps) とデュプレックスモード (全二重または半二重) を使用し、ネットワークに接続を試みます。ほとんどの場合、ジャンプ設定を変更する必要はありません。詳細については、付録 A を参照してください。</p>

3. カードのインストール前に、プリンタが動作することを確認します。

 <p>HP LaserJet 4000 series printers HEWLETT® PACKARD</p> <p>Configuration Page 1</p> <p>Printer Information</p> <p>Product Name: HP LaserJet Printer Name: HP LaserJet 5 Printer Number: 1 Forecast Number: S45A000000 Printer Serial Number: 0000000000 Firmware Revision: 91011 Rev3.8 Net: 000000 Page Count: 0 Page Since Last Maintenance: 0</p> <p>Memory</p> <p>Print Memory: 4 Mbytes RL Mem: 2.49 128 Mbytes 8Kb bytes allocated of 100k bytes Available Reserved Garbage Additional Memory Needed to Enable: 4 Mbytes</p> <p>Installed Personalities and Options</p> <p>PL: 4000J2001 PLK: 1199J2001 PL: 4000J2001 DIM Slot 1: 8 Mbytes DIMM DIM Slot 2: Empty DIM Slot 3: Empty DIM Slot 4: Empty EIO 1: Empty EIO 2: Unsupported (Check Code FFE0C)</p> <p>Security</p> <p>Control Panel Lock: NONE Control Panel Password: DISABLED</p> <p>Event Log</p> <p>Number of Entries to Log: 0 Maximum Number of Entries: 30 Event Log is Empty</p> <p>Paper Trays and Options</p> <p>Default Paper Size: LETTER Tray 2: LETTER</p>	<p>プリンタ構成ページを印刷します。</p> <p>印刷方法については、第 2 章またはプリンタのマニュアルを参照してください。</p>
--	--

4. プリンタの電源を切り、カードを挿入します。 ネットワークケーブルを接続します。

プリンタの中には、複数の EIO (Enhanced I/O) スロットがあるものがあります。HP JetDirect カードは、どの EIO スロットにもインストールできます。



5. カードが正しく動作していることを確認します。

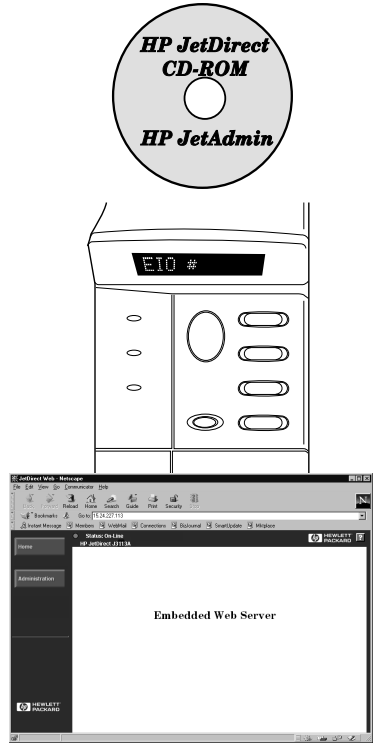
<p>HP LaserJet 4000 series printers</p> <p>EIO 1 - JETDIRECT PAGE</p> <p>JetDirect Configuration Page</p> <p>GENERAL INFORMATION</p> <p>HP JETDIRECT: J3111A FIRMWARE REVISION: 4.45.11 LAN MAC ADDRESS: 00000E310000 EIO1 SOCKET: 100MS (1 RJ45) MFG ID: 371K37JF0LS10</p> <p>1/0 CARD READY</p> <p>NETWORK STATISTICS</p> <p>INPUT PACKETS RCVD: 6741009 TOTAL PACKETS RCVD: 6767674 BAD PACKETS RCVD: 0 FRAMING ERRORS RCVD: 0 PACKETS DROPPED/TX: 4823000 DRUM NAME: J45100 UNIT COLLISIONS: 591694 UNIT LATE COLLECTIONS: 0</p> <p>PROTOCOL INFORMATION</p> <p>TOPDEV STATUS: READY</p> <p>HOST NAME: kps23 CONFIG BY: 0000/0001P IP ADDRESS: 13.29.42.70 SUBNET MASK: 255.0.0.0 DEF. GATEWAY: 13.29.42.69 DNS SERVER: NOT SPECIFIED (BLEE TIMEOUT (SECONDS)): 00 SNMP SET ONLY NAME: NONE BOOTSTRAP SERVER: 13.29.42.206 CONFIG FILE:</p> <p>WEBIA SERVER: READY NOVELL STATUS: READY MODE: QUEUE SERVER MODE NAME: VERT0 SERVER NAME: ANTARES</p> <p>APPLETALK STATUS: READY ETALK NET. MODE: 139 72 ETALK NET. MODE: EES APPLETALK NAME: HP LaserJet 400 ETALK ZONE: *</p> <p>DLC/LLC STATUS: READY</p> <p>NOVELL RETRANS: 26 NETWORK FRAME TYPE: 8020 PROTOCOL ID: 11 LINK/RAW: 047002_2 UNKNOWN: 01_C0MP: 2</p>	<p>プリンタの電源を入れ、もう一度構成ページを印刷します。</p> <p>JetDirect 構成ページ (JetDirect Configuration Page) も印刷されることを確認します。</p> <p>JetDirect 構成ページをチェックし、“I/O CARD READY” というメッセージが印刷されていることを確認します。</p>
---	--

注記

ほかのメッセージが印刷される場合は、HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』のトラブルシューティングの項を参照してください。

HP J3113A 10/100Base-TX カードの特殊な設定およびトラブルシューティングについては、本書の付録 A を参照してください。

6. ネットワークの動作用にカードを設定します。

 <p>The diagram shows an HP JetDirect printer with a CD-ROM labeled 'HP JetDirect CD-ROM' and 'HP JetAdmin' floating above it. The printer's display shows 'EIO #'. Below the printer is a screenshot of the Embedded Web Server interface, which includes a navigation menu and the text 'Embedded Web Server'.</p>	<p>インストールと設定用のソフトウェアは、HP JetDirect CD-ROM または Web サイトからダウンロードできます。</p> <p>『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』を参照してください (CD-ROM に収録されている場合もあります)。</p> <p>HP プリンタの多くは、プリンタのコントロールパネルを使用し、基本的なネットワークパラメータを設定できます。</p> <p>本書の第 3 章を参照してください。</p> <p>JetDirect カードに IP アドレスが設定されていれば、サポートされている Web ブラウザを使用してアドバンスド構成を行うこともできます。</p> <p>本書の第 4 章を参照してください。</p>
--	--

目次

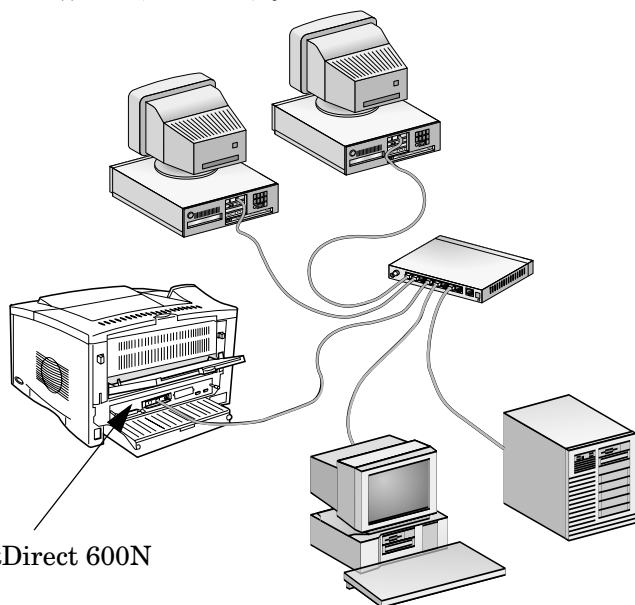
簡易インストール	5
1. はじめに	
サポートされているネットワーク プロトコル	1-12
サポートされているプリンタ	1-13
2. プリント サーバーのインストール	
インストールに必要なもの	2-15
ステップ 1. HP JetDirect 600N 内蔵プリント サーバーの種類を確認する	2-16
ステップ 2. 必要に応じて、カード上のスイッチ、 またはジャンパを設定する	2-18
ステップ 3. カードをインストールする前に、 プリンタが動作することを確認する	2-19
ステップ 4. プリンタの電源を切り、 カードを挿入する	2-21
ステップ 5. カードが正しく インストールされたことを確認する	2-22
ステップ 6. ネットワーク動作用に カードを設定する	2-24
3. コントロール パネルの設定	
はじめに	3-27
デフォルト設定の復元	3-28
ネットワーク プロトコルの有効化と無効化	3-28
ネットワーク プロトコルの有効化と無効化	3-29
IPX フレーム タイプの設定	3-30
HP JetDirect Ethernet カード上での IPX フレーム タイプ	3-30
HP JetDirect Token Ring カード上での IPX フレーム タイプ	3-30
IPX フレーム タイプの設定	3-31

IPX ソース ルーティングの設定 (Token Ring カードのみ).....	3-32
IPX ソース ルーティングの設定	3-32
TCP/IP パラメータの設定	3-34
TCP/IP パラメータの設定	3-35
Apple EtherTalk フェーズ パラメータの設定 (Ethernet カードのみ).....	3-37
EtherTalk パラメータの設定	3-37
4. 組み込み Web サーバーの使用	
互換性のある Web ブラウザ	4-40
HP Web JetAdmin の互換性	4-40
組み込み Web サーバーの表示	4-41
操作メモ	4-42
A. HP J3113A 10/100Base-TX プリント サーバー	
サポートされているリンク	A-43
リンクスピード LED	A-43
リンク設定ジャンパの設定	A-44
リンクのトラブルシューティング	A-45
B. 仕様と規制に関するステートメント	
電気および環境に関する仕様	B-47
規制に関するステートメント	B-48

はじめに

HP JetDirect 600N ファミリの内蔵プリント サーバーは、HP Enhanced I/O (EIO) プリンタと MFP (多機能周辺機器) 製品のネットワーク インタフェース カードです。HP JetDirect プrint サーバーを使用すると、ネットワーク上のどこでもプリンタを接続・共有し、ネットワークのスピードで印刷できます。

下の図は、HP JetDirect 600N プrint サーバーを使用した典型的なネットワークを示しています。最初に、カードをプリンタにインストールし、ネットワークに接続する必要があります。次に、カードをネットワーク動作に設定します。



HP JetDirect 600N

- カードを設定するには、HP JetDirect プリンタ インストールおよびセットアップ ソフトウェアを使用することができます。この製品に付属している HP JetDirect ソフトウェア インストール ガイドを参照してください。
- コントロール パネル付きのプリンタでは、プリンタのコントロールパネルを使用して基本的なネットワーク パラメータを設定できます。第 3 章を参照してください。

1 サポートされているネットワーク プロトコル

サポートされているネットワークプロトコル	ネットワーク プリント用環境 *	HP JetDirect 600N 製品
TCP/IP	Microsoft Windows 95/98/NT4.0/2000 NDPS 上の Novell NetWare 5 以下のネットワークを含む UNIX および Linux Hewlett-Packard HP-UX、 Sun Microsystems Solaris (Sun SPARCsystems のみ)、 IBM AIX**、HP MPE-iX**、 RedHat Linux、SuSE Linux LPD (ライン プリンタ デーモン) IPP (Internet Printing Protocol)	J3110A J3111A J3112A J3113A
IPX/SPX および 互換プロトコル	Novell NetWare Microsoft Windows 95/98/NT4.0/2000	J3110A J3111A J3112A J3113A
EtherTalk	Mac OS	J3110A J3111A J3113A
LocalTalk	Mac OS	J3111A
DLC/LLC	Microsoft Windows NT** Artisoft LANtastic**	J3110A J3111A J3112A J3113A
<p>* サポートされているネットワークのバージョンについては、最新の HP JetDirect 製品のデータシートを参照してください。その他のネットワークについては、システムのメーカー、または HP 正規代理店に問い合わせてください。</p> <p>** ソフトウェア、説明書、サポートについては、ネットワーク システムのメーカーに問い合わせてください。</p>		

サポートされているプリンタ

HP JetDirect 600N プリント サーバーは、次に示すような、EIO (Enhanced Input/Output) スロットを備えている全 HP プリンタと多機能周辺機器 (MFP) でサポートされています。

- HP LaserJet EIO プリンタと MFP
- HP Color LaserJet EIO プリンタと MFP
- HP DesignJet EIO 大型フォーマット プリンタ

上記のほとんどのプリンタで、プリンタ コントロール パネルを使用して HP JetDirect 600N 内蔵プリント サーバーの基本的なネットワーク パラメータを設定することができます。詳細については、第 3 章を参照してください。

注記

本書に記載のない周辺機器のインストールの手順または制限に関しては、それぞれの機器に付属しているマニュアルを参照してください。

プリント サーバーのインストール

インストールに必要なもの

- 使用するネットワークに適した HP JetDirect プリント サーバー、説明書、およびソフトウェア
- カードとプリンタをネットワークに接続するのに適切なネットワーク ケーブルとコネクタ
- 静電気発生の危険のない、カードの取り扱いに適した環境

注意

HP JetDirect カードには、静電放電 (ESD) による静電気で損傷を受ける可能性のある電子部品が組み込まれています。ESD による損傷を防止するため、プリンタ上の裸の金属板の表面への頻繁な接触を維持します。このためには、接地用リストバンド（あるいは類似の機器）が役立ちます。カードは常に注意深く取り扱い、電子部品や回路の経路に触らないでください。

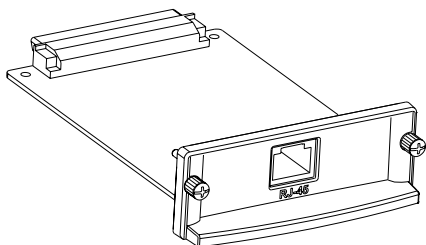
2

ステップ1. HP JetDirect 600N 内蔵プリント サーバーの種類を確認する

HP JetDirect カードの梱包を取り外し、使用するネットワークに合った正しいカードであることを確認します。

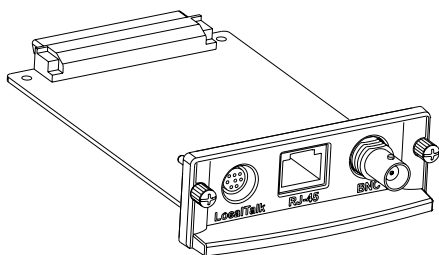
Ethernet と IEEE 802.3 タイプ
10Base-T ネットワーク (10 Mbp)
用 **HP J3110A**

このカードには、非シールドツイストペア ケーブルを使用するネットワーク用の RJ-45 コネクタが備わっています。



Ethernet、IEEE 802.3 タイプ
10Base-T/10Base-2 ネットワーク
(10Mbp)、および LocalTalk
ネットワーク用 **HP J3111A**

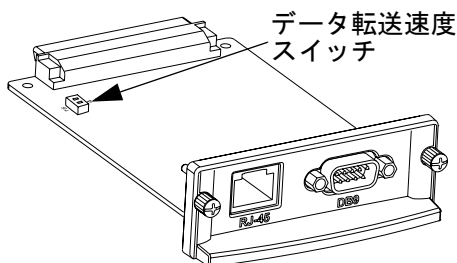
このカードには、非シールドツイストペア ケーブルを使用するネットワーク用の RJ-45 コネクタ、ThinLAN 同軸ケーブル用の BNC コネクタ、および LocalTalk コネクタボックス用の Mini-DIN 8 コネクタが備わっています。



LocalTalk ポートと 1 つの Ethernet ポート、すなわち RJ-45、または BNC のどちらかを使用できます。

Token Ring (IEEE 802.5) ネットワーク用 HP J3112A。データ転送速度スイッチで Token Ring ネットワークを 4 または 16 Mbps で動作するように選択します。

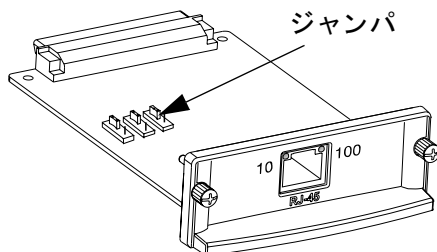
このカードには、非シールドツイストペアケーブルを使用するネットワーク用の RJ-45 コネクタと、タイプ 1、2、または 6 のシールドツイストペアケーブル用の DB 9 コネクタが備わっています。



1 つの Token Ring ポート、すなわち RJ-45、または DB 9 のどちらかを使用できます。

Ethernet、IEEE 802.3 タイプ 10Base-T、または IEEE 802.3u タイプ 100Base-TX ネットワーク用 HP J3113A。カード上のジャンパを使用し、全二重または半二重での 10 または 100Mbps の動作を、オートネゴシエーションまたは手動で設定できます。

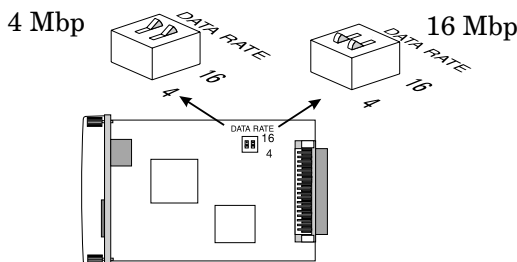
このカードには、非シールドツイストペアケーブルを使用するネットワーク用の RJ-45 コネクタが 1 つ備わっています。



ほとんどの場合、ジャンパを変更する必要はありません。付録 A を参照してください。

2 ステップ 2. 必要に応じて、カード上のスイッチ、またはジャンパを設定する

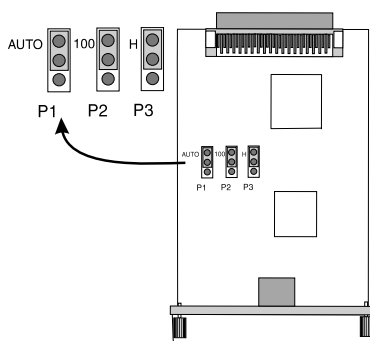
- **HP J3112A Token Ring** プリント サーバーがある場合は、カード上のデータ転送速度スイッチを 4 または 16Mbps に設定します。Token Ring ネットワークのデータ転送速度に合わせて、選択します。



- a. Token Ring カードのデータ転送速度スイッチの位置を確認します。
 - b. スイッチを 4 または 16Mbps に設定します。デフォルトは 16 Mbps です。
- **HP J3113A 10/100Base-TX** プリント サーバーがある場合は、ジャンパ P1 が“**AUTO**”（オートネゴシエーション）の位置にあることを確認します。これはデフォルトの位置です。（この位置では、カードは検出したスピード（10 または 100 Mbps）と通信モード（全二重または半二重のデュプレックス）で、自動的にネットワークに接続を試みます）。

P1 = AUTO

10/100; 半二重 /
全二重
オートネゴシエーション



注記 10/100Base-TX カード上の他のジャンパ設定の定義については、付録 **A** を参照してください。

ステップ 3. カードをインストールする前に、プリンタが動作することを確認する

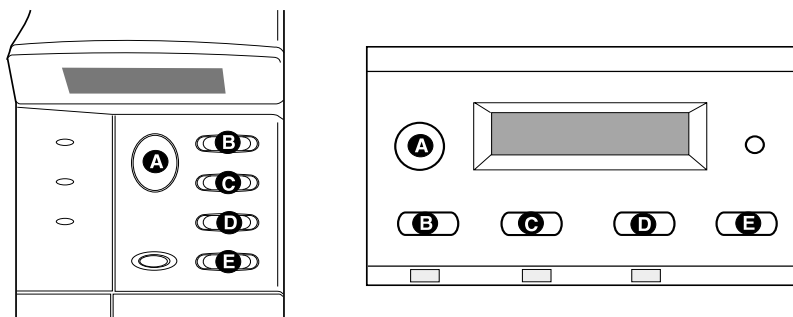
プリンタが正しく動作することを確認するには、プリンタ構成ページを印刷します。選択したプリンタの構成ページを印刷する手順は、以下に説明されています。（その他のプリンタについては、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。）プリンタのコントロールパネルに表示される文字は、設定により、英語、カタカナが選択できます。以下の手順では英語表示を想定しています。

HP LaserJet プリンタと MFP

プリンタのコントロールパネルを使用し、次のステップを実行します。

1. プリンタの電源が入り、READY メッセージが表示されていることを確認します。
2. **[メニュー]** を押して INFORMATION MENU を表示します。
3. **[項目]** を押して PRINT CONFIGURATION を表示します(または PRINT CONFIG PAGE)。
4. **[選択]** (または **[Resume]**) を押し、印刷します。必要に応じて **[Go]** を押し、追加メッセージをバイパスします。
5. プリンタ構成ページにプリンタの構成が表示されます。

図 2-1 一般的な HP LaserJet プリンタ コントロール パネル



- A Go
- B メニュー
- C 項目
- D 値
- E 選択

注記

プリンタのフロントパネル メニューの使用方法については、HP DesignJet プリンタのマニュアルを参照してください。

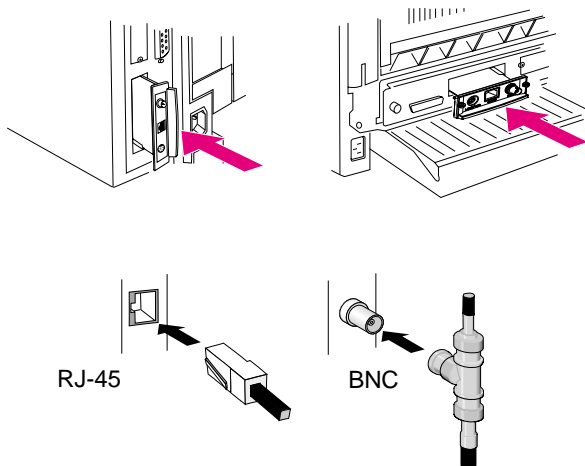
1. プリンタのステータスが **[Ready]** になっている状態で、**Enter** キーを押してプリンタ セットアップ メニューを使用します。
2. フロントパネル メニュー上のすべての項目にアクセスできるように、**Menu Mode** が **Full** (Utilities -> Menu Mode -> Full✓ など) に設定されていることを確認します。
3. サービス構成プリントを印刷します。一部のプリンタでは、同時に上下矢印キー(↑↓)を押します。他のプリンタでは、プリンタ セットアップ メニューを使用する必要があります (Utilities -> Test prints -> Service Config など)。

注記

プリンタに **HP JetDirect** プリント サーバーがインストールされている場合、プリンタのサービス構成プリントに **HP JetDirect** 構成情報が含まれます。

ステップ4. プリンタの電源を切り、カードを挿入する

図 2-2 一般的なカードの取り付けとネットワーク接続



1. プリンタの電源を切ります。
2. プリンタの背面で、使用できる HP Enhanced I/O (EIO) スロットを確認します。

注記 カードは HP プリンタのどの EIO スロットにも挿入できます。

3. スロットにカバープレートが付いている場合は、カバーを外します。
4. カードを挿入します。カードとスロット中のガイドレールの位置を合わせます。
5. カードがスロット中で安定するまでカードを押し込み、少しずつねじを締めて、両方の固定ねじを完全に止めます。
6. ネットワークケーブルをカードに接続します。

注記

HP J3111A Ethernet カードを使用する場合は、LocalTalk ポートと、1つの Ethernet ポート (RJ-45 または BNC) だけに接続できます。

HP J3112A Token Ring カードを使用する場合は、1つの Token Ring ポート (RJ-45 または DB 9) だけに接続できます。

7. プリンタの電源を入れます。
-

ステップ 5. カードが正しくインストールされたことを確認する

1. 上記のステップ3 に説明されている手順に従い、再度プリンタ構成ページを印刷して、HP JetDirect 構成ページも印刷されることを確認します。

JetDirect 構成ページは、HP JetDirect カードを含む EIO スロットごとに印刷されます。

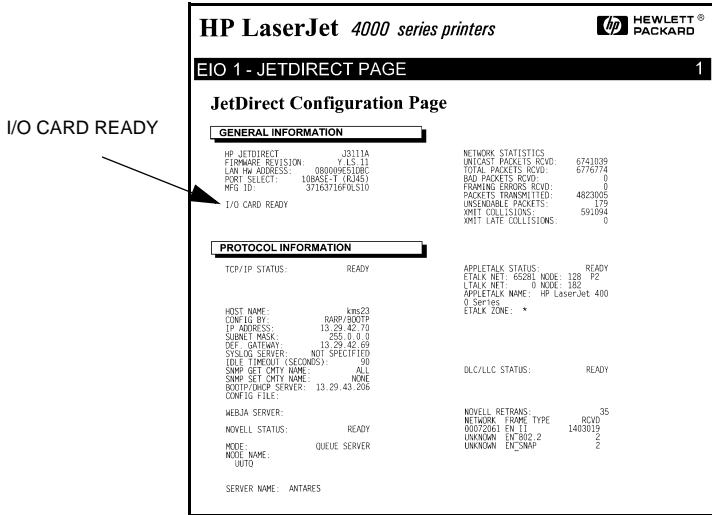
2. HP JetDirect 構成ページの **General Information** の項に “I/O CARD READY” というメッセージが印刷されていることを確認します。

構成ページのこの項には、以下の製品固有の情報も含まれています。

- HP JetDirect 製品番号
- ファームウェアのリビジョン番号
- LAN ハードウェア (MAC) アドレス
- 製造 ID 番号

注記

HP JetDirect 構成ページに印刷される他のメッセージの説明については、HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』を参照してください。



3. I/O CARD READY が印刷された場合は、カードのインストールが成功しています。“ステップ 6. ネットワーク動作用にカードを設定する”に進みます。
4. I/O CARD READY が印刷されない場合は、以下の事項をチェックします：
 - カードが正しくインストールされ、カードがネットワークに正しく接続されていますか。
 - ネットワークが正しく動作していますか。
 - プリンタの電源を切ってから、再度電源を入れましたか。

注記

HP J3113A 10/100Base-TX カードの場合：特殊なトラブルシューティングについては、本書の付録 A を参照してください。

LocalTalk だけを使用している場合：Ethernet ネットワークに接続していない場合は、“I/O CARD NOT READY” と “LAN ERROR - EXTERNAL LOOPBACK” というメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージは、3 分たつと表示されなくなります。これらのメッセージを取り除くには、Ethernet ループバック コネクタを Ethernet ポートの 1 つに接続します。

問題が継続する場合は、HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』のトラブルシューティングの項を参照してください。

ステップ 6. ネットワーク動作にカードを設定する

カードが正しくインストールされ、正常に動作している場合は、ネットワーク動作にカードを設定します。以下の方法で、カードを設定できます。

- 本製品に付属の HP JetDirect CD-ROM に収録されている、インストールと設定用のソフトウェアを使用します。Microsoft Windows、Windows 95/98/NT/2000 システム (Microsoft または Novell NetWare ネットワーク) 上では、この CD-ROM のインストール ユーティリティでプリンタを完全にセットアップすることができます。
- HP プリンタ管理ソフトウェア (*HP Web JetAdmin* など) や、他のネットワークのユーティリティを使用できます。HP プリンタ管理ソフトウェアは、HP の カスタマ・ケア・センタ (http://www.hp.com/support/net_printing、日本では <http://www.jpn.hp.com/go/support>) からダウンロードできます。
- コントロールパネル付きのプリンタの場合、プリンタのコントロールパネルから、カードの基本的なネットワーク パラメータを設定できます。本書の第 3 章を参照してください。
- HP JetDirect カードを TCP/IP 用に設定した後は、アドバンスド構成方法 (BootP、DHCP、Telnet、組み込み Web サーバー、"arp" と "ping" コマンドなど) を使用します。HP JetDirect カード上で提供されている Telnet サービスを使用してください。HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』を参照してください。

注記

ネットワーク用に **HP JetDirect** カードを設定した方法によっては、印刷するためにコンピュータをさらに設定する必要があります。システムにプリンタを追加する、または、システムでの印刷を可能にするには、プリンタ インストールソフトウェアまたはオペレーティング システムのヘルプ システムを参照してください。詳細については、**HP JetDirect CD-ROM** に収録されている『 **HP JetDirect** プリント サーバー管理者用ガイド』を参照してください。

コントロールパネルの設定

はじめに

ほとんどの場合、HP ソフトウェア ツールを使用してネットワークプリンタを設定します。ただし、ご使用の HP プリンタや多機能周辺機器 (MFP) デバイスにコントロールパネルが付いている場合は、プリンタのコントロールパネルを使用して、基本的なネットワークパラメータを設定できます。コントロールパネルを備えているプリンタには次のような機種があります。

- HP LaserJet 4000、4050、5000、8000、8100、8150 シリーズ EIO プリンタと MFP
- HP Color LaserJet 4500、8500、8550 シリーズ EIO プリンタと MFP
- HP DesignJet EIO プリンタ

注記

プリンタのフロント コントロール パネルから HP DesignJet プリンタの HP JetDirect パラメータを設定する場合は、お手元の HP DesignJet セットアップガイドを参照してください。

HP LaserJet 2100 シリーズ EIO プリンタなどのコントロールパネルのないプリンタでは、HP ソフトウェア ツールを使用して設定する必要があります。

プリンタのコントロールパネルからは、以下の操作を行うことができます。

- ネットワーク プロトコルの有効化と無効化 (TCP/IP、IPX/SPX、DLC/LLC、AppleTalk)
- TCP/IP パラメータの設定
- IPX フレームタイプの設定
- Token Ring ネットワーク用 IPX ソースルーティングの設定
- Ethernet ネットワーク用 Apple EtherTalk フェーズパラメータの設定

コントロールパネルから **HP JetDirect** カードを設定した後も、印刷するためには引き続きコンピュータとネットワークのオペレーティングシステムの設定が必要な場合があります。詳しくは、この製品に付属している **HP JetDirect** ソフトウェア インストール ガイドを参照してください。

カードを再設定した場合、たとえばネットワーク プロトコルを無効にした場合、設定はカードに保存され、プリンタの電源を切ってから再度電源を入れた場合も維持されます。

デフォルト設定の復元

プリンタのコールドリセットを実行し、デフォルト設定を復元できます。詳細は、プリンタに付属しているマニュアルを参照してください。いくつかの **HP LaserJet** プリンタでは、まずプリンタの電源を切り、**[Go]** を押しながら再び電源を入れることにより、コールドリセットを実行できます。これにより、プリンタと **JetDirect** の設定が、工場出荷時の状態に戻ります。**HP JetDirect** のデフォルト値に戻ったことを確認するには、**JetDirect** 構成ページを印刷してください（第 2 章を参照）。

ネットワーク プロトコルの有効化と無効化

工場から出荷されたカードを最初にインストールしたときは、プリンタの電源を入れると、すべてのネットワークプロトコルが有効（すなわちオン）になります。ネットワークプロトコルが有効になっていると、プロトコルが使用されていない場合でも、カードはネットワークと活発に通信する場合があります。これにより、ネットワークの通信量が僅かに増えることがあります。不要な通信を避けるため、使用しないプロトコルを無効にすることができます。使用しないプロトコルを無効にすると、次の効果を得ることができます。

- 使用しないプロトコル（たとえば **IPX/SPX** や **TCP/IP**）からのブロードキャスト メッセージを排除し、ネットワークの通信量を減らします。
- 他のネットワークのユーザーが偶然にこのプリンタに印刷ジョブをルーティングすることを防ぎ、プリンタで印刷するユーザーをより確実に管理します。

- **JetDirect** 構成ページには有効なすべてのプロトコルのステータスが表示されるので、このページから不要な情報が削除されます。
- プリンタのコントロール パネルで、プロトコルに特有のエラー状態を表示できます。これらの警告メッセージは、有効なすべてのプロトコルで印刷不能な場合にだけ表示されます。

ネットワーク プロトコルの有効化と無効化

1. プリンタで [**JetDirect**] メニューにアクセスするには、プリンタをオフラインにする必要があります（たとえば、**[Go]** を押すと、“Ready” LED がオフになります）。
2. **[メニュー]** を続けて押し、EIO MENU または EIO * JETDIRECT MENU を表示します（* はカードの EIO スロット 番号を示します）。
3. **[項目]** を続けて押しして CFG NETWORK=NO* を表示します。
NO* は、EIO JetDirect ネットワーク メニューへのアクセスがバイパスされることを示します。EIO JetDirect メニューにアクセスするには、これを CFG NETWORK=YES* に変更する必要があります。
 - a. **[値]** を押して CFG NETWORK=YES を表示します。
 - b. **[選択]** または **[Resume]** を押して CFG NETWORK=YES* を表示します（* はプリンタ上でアクティブな値を示します）。
4. **[項目]** 押し、変更するネットワーク プロトコルが表示されるまでスクロールします。

IPX/SPX=ON*	● プロトコルステータスを変更するには、 [値] を押してから [選択] または [Resume] を押します。 ● [項目] を押すと、次のプロトコルに進みます。
DLC/LLC=ON*	
TCP/IP=ON*	
ETALK=ON*	
注記： ON* は、そのプロトコルが有効であることを示します。 OFF* は、そのプロトコルが無効であることを示します。 “ETALK” は EtherTalk プロトコルを意味します。 (Token Ring カードでは使用できません。)	

5. プリンタを動作状態に戻し、変更を保存するには **[Go]** または **[項目]** を押します。

3 IPX フレーム タイプの設定

IPX/SPX プロトコル ネットワーク (Novell NetWare など) では、ネットワークでは、カード 上でネットワーク 通信フレームのフォーマットを指定する必要があります。ほとんどの場合は、デフォルト のフレームタイプ設定、すなわち **AUTO** (“自動”) を使用できます。しかし、必要な場合は、フレームタイプのフォーマットを手動で設定できます。

フレーム タイプの設定をする前に、IPX/SPX プロトコルが有効 (IPX/SPX=ON*) になっている必要があります。

HP JetDirect Ethernet カード 上での IPX フレーム タイプ

フレーム タイプ	説明
AUTO (デフォルト)	フレーム タイプを自動的に感知し、最初に検出したものに限定します。
EN_8023	フレーム タイプを IEEE 802.3 フレーム上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。
EN_II	フレーム タイプを Ethernet フレーム上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。
EN_8022	フレーム タイプを IEEE 802.3 フレームを持つ IEEE 802.2 上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。
EN_SNAP	フレーム タイプを IEEE 802.3 フレームを持つ SNAP 上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。

HP JetDirect Token Ring カード 上での IPX フレーム タイプ

フレーム タイプ	説明
AUTO (デフォルト)	フレーム タイプを自動的に感知し、最初に検出したものに限定します。
TR_8022	フレーム タイプを IEEE 802.5 フレームを持つ IEEE 802.2 LL 上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。
TR_SNAP	フレーム タイプを IEEE 802.5 フレームを持つ SNAP 上の IPX に限定します。他はすべてカウントして廃棄します。

IPX フレーム タイプの設定

まだ IPX/SPX プロトコルを有効 (IPX/SPX=ON*) にしていない場合は、本章の「ネットワーク プロトコルの有効化と無効化」に説明されている手順に従って有効にします。

1. プリンタで [JetDirect] メニューにアクセスするには、プリンタをオフラインにする必要があります (たとえば、[Go] を押すと、"Ready" LED がオフになります)。
2. [メニュー] を続けて押して、EIO MENU または EIO * JETDIRECT MENU を表示します (* はカードの EIO スロット番号を示します)。
3. [項目] を続けて押して、CFG NETWORK=NO* を表示します。

NO* は EIO JetDirect ネットワーク メニューへのアクセスがバイパスされることを示します。EIO JetDirect メニューにアクセスするには、これを CFG NETWORK=YES* に変更する必要があります。

- a. [値] を押して CFG NETWORK=YES を表示します。
 - b. [選択] または [Resume] を押して CFG NETWORK=YES* を表示します (* はプリンタ上でアクティブな値を示します)。
4. [項目] を押し、CFG IPX/SPX=NO* が表示されるまでネットワーク プロトコルをスクロールします。

IPX/SPX 設定メニューにアクセスするには、[値] を押してから、[選択] または [Resume] を押して、CFG IPX/SPX=YES* を表示します。

5. [項目] を続けて押して FRAME=<Frame Type>* を表示します。

AUTO EN_8023 EN_II EN_8022 EN_SNAP TR_8022 TR_SNAP	<ul style="list-style-type: none"> ● フレーム タイプを変更するには、[値] を押して必要なオプションを表示してから、[選択] または [Resume] を押します。 ● [項目] を押すと、次のパラメータに進みます。
注記： アスタリスク (*) は、選択されたアクティブなフレームタイプを示します。使用できるフレーム タイプのオプションは、インストールされているのが Ethernet カードか Token Ring カードかによって変わります。	

6. プリンタを動作状態に戻して変更を保存するには、[Go] または [項目] を押します。

3 IPX ソース ルーティングの設定 (Token Ring カードのみ)

IPX ネットワーク上では、Token Ring プリント サーバーは、ネットワークで使用される Token Ring ソース ルーティングのタイプに設定される必要があります。ほとんどの場合、デフォルト 設定、すなわち AUTO (“自動”)を使用できます。しかし、必要な場合は、ソース ルーティングを手動で設定できます。

ソース ルーティングを設定する前に、IPX/SPX プロトコルが有効 (IPX/SPX=ON*) になっている必要があります。

以下のルーティングを選択できます。

ソース ルーティング	説明
AUTO (デフォルト)	ネットワーク環境に必要なソース ルーティングのタイプを自動的に感知します。
OFF	すべてのパケットがソース ルーティングなしで送信されます。JetDirect カードは、同じリング上のステーションにだけ応答します。
SINGLE R	すべてのパケットがソース ルーティングとともに送信されます。Single Route メソッドはブロードキャストに使用されたり、ルートが不明な場合に使用されます。
ALL RT	すべてのパケットがソース ルーティングとともに送信されます。All Routes メソッドはブロードキャストに使用されたり、ルートが不明の場合に使用されます。

IPX ソース ルーティングの設定

1. プリンタで [JetDirect] メニューにアクセスするには、プリンタをオフラインにする必要があります (たとえば、[Go] を押すと、“Ready” LED がオフになります)。
2. [メニュー] を続けて押して EIO MENU または EIO * JETDIRECT MENU を表示します (# はカードの EIO スロット 番号を示します)。

3. **[項目]** を続けて押して CFG NETWORK=NO* を表示します。

NO* は EIO JetDirect ネットワーク メニューへのアクセスがバイパスされることを示します。EIO JetDirect メニューにアクセスするには、これを CFG NETWORK=YES* に変更する必要があります。

a. **[値]** を押して CFG NETWORK=YES を表示します。

b. **[選択]** または **[Resume]** を押して CFG NETWORK=YES* を表示します (* はプリンタ上でアクティブな値を示します)。

4. **[項目]** を押し、CFG IPX/SPX=NO* が表示されるまでネットワークプロトコルをスクロールします。

IPX/SPX 設定メニューにアクセスするには、**[値]** を押してから **[選択]** または **[Resume]** を押して CFG IPX/SPX=YES* を表示します。

5. **[項目]** を続けて押して SRC RC=<Source Routing>* を表示します。

AUTO OFF SINGLE R ALL RT	<ul style="list-style-type: none"> ● 選択を変更するには、[値] を押して必要なオプションを表示してから、[選択] または [Resume] を押します。 ● [項目] を押し、次のパラメータに進みます。
注記： アスタリスク (*) は、選択されたアクティブなソース ルーティングを示します。	

6. プリンタを動作状態に戻し、選択を保存するには、**[Go]** または **[項目]** を押します。

3 TCP/IP パラメータの設定

プリンタのコントロールパネルを使用し、TCP/IP パラメータを手動で選択できます。

パラメータ	説明
BOOTP	YES (デフォルト) は、ネットワークから BOOTP/TFTP、DHCP、または RARP を使用して TCP/IP 設定を自動的に有効にします。 BOOTP=YES* にすると、残りのパラメータをコントロールパネルから設定できなくなります。 NO は BOOTP を無効にし、残りのパラメータをプリンタのコントロールパネルから設定できるようにします。
IP Address	JetDirect カードの独自の TCP/IP ネットワークアドレスで、4 バイトで構成されています。 IP BYTE1.I PBYTE2. IPBYTE 3.IPBYTE4 (例: 015.024.227.113)
Subnet Mask	サブネットが使用されている場合に、JetDirect カードのサブネットを認識するために使用されるビットマスクフィルタで、4 バイトで構成されています。 SM BYTE1.S MBYTE2. SMBYTE3 .SMBYTE4 (例: 255.255.248.0)
Syslog Server IP Address	JetDirect カードが使用するログサーバーの IP アドレスで、4 バイトで構成されています。 LG BYTE1.L GBYTE2.LG BYTE3.LG BYTE4
Default Gateway	ローカル サブネット外のステーションと通信するために使用するゲートウェイの IP アドレスで、4 バイトで構成されています。 GW BYTE1.G WBYTE2.G WBYTE3.G WBYTE4
Timeout	TCP/IP タイムアウトまでの待ち時間 (秒) です。値の範囲は 0 から 3600 で、デフォルトは 90 です。 "0" に設定すると、HP JetDirect カードのタイムアウト機能が無効になります。TCP/IP 接続は、サーバーが接続を閉じるまで続きます。

注記

TCP/IP ネットワーク上で動作するには、カードに有効な IP アドレスが設定されている必要があります。設定されていない場合、カードに電源が入った 2 分後にデフォルト値 **192.0.0.192** が自動的に割り当てられます。

DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) の動作には、BOOTP が有効になっている必要があります。

IP アドレスが DHCP を通して設定され、続いてコントロールパネルから変更された場合は、DHCP が割り当てたアドレスが解放されます。また、この場合、適切な設定を行うため、サブネット マスク、デフォルトのゲートウェイ、およびタイムアウトのような他の TCP/IP パラメータを手動で設定する必要があります。

TCP/IP パラメータの設定

まだ TCP/IP を有効 (TCP/IP=ON*) にしていない場合は、本章の「ネットワーク プロトコルの有効化と無効化」に説明されている手順に従って有効にします。

注記

データは注意して入力します。入力を間違えた場合は、ステップ 1 からやり直す必要があります。

-
1. プリンタで [JetDirect] メニューにアクセスするには、プリンタをオフラインにする必要があります (たとえば、[Go] を押すと、"Ready" LED がオフになります)。
 2. [メニュー] を続けて押して EIO MENU または EIO * JETDIRECT MENU を表示します (* はカードの EIO スロット番号を示します)。
 3. [項目] を続けて押して CFG NETWORK=NO* を表示します。

NO* は EIO JetDirect ネットワーク メニューへのアクセスがバイパスされることを示します。EIO JetDirect メニューにアクセスするには、これを CFG NETWORK=YES* に変更する必要があります

- a. [値] を押して CFG NETWORK=YES を表示します。
- b. [選択] または [Resume] を押して CFG NETWORK=YES* を表示します (* はプリンタ上でアクティブな値を示します)。

4. **[項目]**を押して、CFG TCP/IP=NO* が表示されるまでネットワークプロトコルをスクロールします。

TCP/IP 設定メニューにアクセスするには、**[値]**を押してから**[選択]**または**[Resume]**を押して CFG TCP/IP=YES* を表示します。
5. **[項目]**を続けて押して BOOTP=YES* または BOOTP=NO* を表示します。
 - アスタリスク (*) は、選択されたアクティブな項目を示します。
 - BOOTP 設定を変更するには、**[値]**を押してから**[選択]**または**[Resume]**を押します。該当するプリンタに、選択した "*" が付いていることを確認します。
6. BOOTP=YES の場合は、プリンタはその TCP/IP パラメータを BOOTP、または DHCP を使用し、ネットワーク上で検索するように設定されています。プリンタのコントロールパネル上には他の TCP/IP プロンプトが表示されません。プリンタをアクティベートして変更を保存するには、**[Go]** または **[項目]** を押します。

これで、カードの TCP/IP 設定は完了しました。次に、BOOTP、または DHCP サーバーを設定する必要があります。操作手順については、システムのマニュアルを参照してください。
7. BOOTP=NO* の場合は、プリンタは TCP/IP パラメータをプリンタのコントロールパネルから受け入れるように設定されています。**[項目]** を押し、各 TCP/IP パラメータを設定します。
 - a. 最初に IP BYTE 1= がコントロールパネルに表示されます。IP アドレスの最初のバイトを入力するには、**[値]** を押し、必要な値を表示します。(**[値]** を押したままにすると、値が速くスクロールされます。)
 - b. 値を保存するには、**[選択]** または **[Resume]** を選択します。**[項目]** を押し、作業を継続します。
 - c. 同じ手順で、IP アドレスの残りのバイトを設定します。
8. 同じ手順で、サブネットマスクバイト (SM)、シスログサーバー IP アドレス (LG)、デフォルトゲートウェイ (GW)、およびタイムアウト (TIMEOUT) を設定できます。
9. プリンタをアクティベートし、変更を保存するには、**[Go]** または **[項目]** を押します。

Apple EtherTalk フェーズ パラメータの設定 (Ethernet カードのみ)

Apple EtherTalk プロトコルが有効 (ETALK=ON*) であり、PostScript プリンタ言語が有効である場合は、Apple EtherTalk パラメータが設定できます。

PostScript プリンタ言語が有効になっていることを確認するには、プリンタの CONFIGURATION MENU をチェックします。PERSONALTY=PS*、あるいは PERSONALTY=AUTO* が設定されています。

EtherTalk パラメータの設定

EtherTalk を有効にしていない場合は、本章の「ネットワークプロトコルの有効化と無効化」に説明されている手順に従って有効にします。

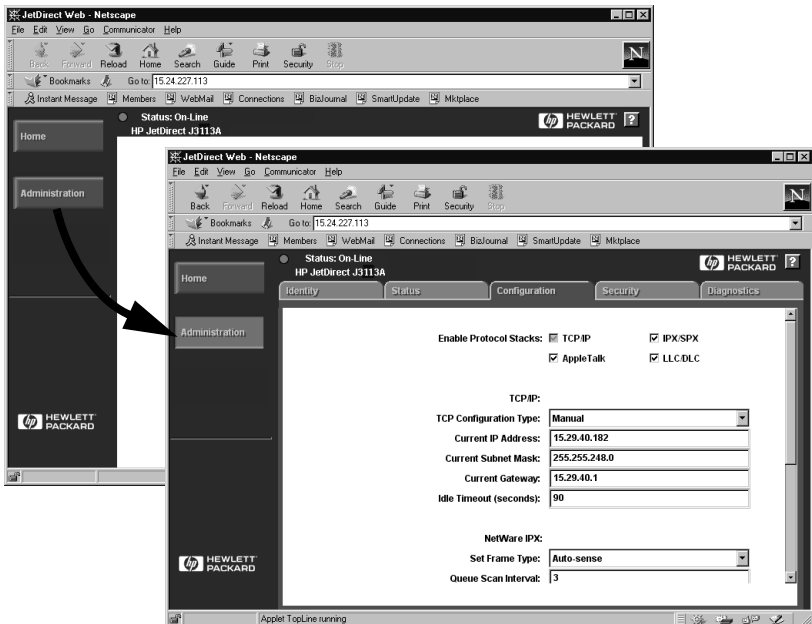
1. プリンタで [JetDirect] メニューにアクセスするには、プリンタをオフラインにする必要があります (たとえば、[Go] を押しと、"Ready" LED がオフになります)。
2. [メニュー] を続けて押して EIO MENU または EIO # JETDIRECT MENU を表示します (# はカードの EIO スロット番号を示します)。
3. [項目] を続けて押して CFG NETWORK=NO* を表示します。
NO* は、EIO JetDirect ネットワークメニューへのアクセスがバイパスされることを示します。EIO JetDirect メニューにアクセスするには、これを CFG NETWORK=YES* に変更する必要があります。
 - a. [値] を押して CFG NETWORK=YES を表示します。
 - b. [選択] または [Resume] を押して CFG NETWORK=YES* を表示します (* はプリンタ上でアクティブな値を示します)。
4. [項目] を押し、CFG ETALK=NO* が表示されるまでネットワークプロトコルをスクロールします。

EtherTalk 設定メニューにアクセスするには、[値] を押してから、[選択] または [Resume] を押して、CFG ETALK=YES* を表示します。

5. **[項目]**を押して、ETALK PHASE=1* または ETALK PHASE=2* を表示します。
 - アスタリスク (*) は、アクティブなフェーズ設定を示します。
 - フェーズ設定を変更するには、**[値]**を続けて押して希望するフェーズ設定を表示してから、**[選択]**または**[Resume]**を押します。該当するプリンタに、選択した "*" が付いていることを確認します。
6. プリンタを動作状態に戻し、変更を保存するには、**[Go]**または**[項目]**を押します。

組み込み Web サーバーの使用

HP JetDirect 600N プリント サーバーには、互換性のあるブラウザを通じてイントラネット上でアクセスできる、組み込み Web サーバーがあります。組み込み Web サーバーは、HP JetDirect プリントサーバーとその接続周辺機器の構成ページや管理ページにアクセスするためのものです。



互換性のある Web ブラウザ

以下の Web ブラウザは、組み込み Web サーバーと互換性があることがテスト済みです。

- Windows 95/98 と NT 4.0:
 - Netscape Navigator 4.01, 4.02, 4.03, 4.05
 - Microsoft Internet Explorer 4.0 アップグレード バージョンの SP1 搭載
- Windows 2000:
 - Microsoft Internet Explorer 5.0
- HP-UX および Solaris
 - Netscape Navigator 4.01, 4.02, 4.03, 4.05
- Linux
 - Netscape Navigator 4.03、4.05

最新の情報については、HP カスタマ・ケア・センタ Web サイト (<http://www.hp.com/go/support>、日本では <http://www.jpn.hp.com/go/support>) にアクセスしてください。

HP Web JetAdmin の互換性

HP カスタマ・ケア・センタの Web サイト (www.hp.com/support/net_printing、日本では <http://www.jpn.hp.com/go/support>) からダウンロードできる HP Web JetAdmin は、イントラネット用のプリンタのインストールと管理のためのアプリケーションです。

HP JetDirect の組み込み Web サーバーと併用する場合は、HP Web JetAdmin 6.0 以降のバージョンを使用することをお勧めします。

使用しているプリンタが HP Web JetAdmin 6.0 (または、それ以降) によって検知されると、JetDirect プリント サーバーの組み込み Web サーバーが HP Web JetAdmin へのリンクを設定し、そのプリンタをはじめとするネットワーク上の JetDirect デバイスを管理します。

組み込み Web サーバーの表示

組み込み Web サーバーを使用する前に、HP JetDirect プリント サーバーの IP アドレスを設定しておく必要があります。

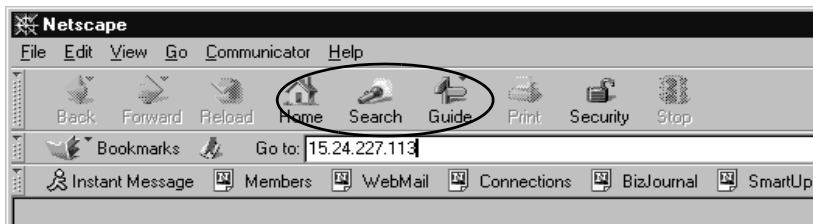
プリント サーバーの IP アドレスを設定する方法はいくつかあります。たとえば、BootP (Bootstrap Protocol) または DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) を使用して、プリンタの電源が入るたびにネットワーク上で自動的に IP パラメータを設定することができます。以下の方法のひとつを使用して手動で IP パラメータを設定することもできます。

- HP JetDirect の CD-ROM の *Install Network Printer* ウィザード (Windows 95、98、NT 4.0、2000)
- プリンタのコントロールパネル (第 3 章を参照)
- Telnet (HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』を参照)
- TCP/IP “arp -s” コマンドの使用
- HP Web JetAdmin またはその他の管理ソフトウェア

HP JetDirect プリント サーバーが、電源投入から 2 分以内に IP 設定を受信しないと、デフォルトの IP アドレス **192.0.0.192** が自動的に割り当てられます。このアドレスはネットワーク上では無効ですが、これを使用して JetDirect プリント サーバーにとりあえずアクセスすることができます。ただし、このデフォルト IP アドレスを使用するためには、一時的にシステムを同じ IP ネットワーク番号で設定するか、またはそのルートを確認しておく必要があります。

プリント サーバーの IP アドレスが設定できたら、以下のステップを実行します。

1. 互換性のあるバージョンの Web ブラウザを起動します。
2. プリント サーバーの IP アドレスを URL として入力します。



HP JetDirect の最初の Web ページが表示されます。

Web ページの [?] アイコンをクリックすると、さらに詳しい情報が表示されます。

4 操作メモ

- IP アドレスやその他のパラメータを変更すると、組み込み Web サーバーとの接続が切断されます。再び接続するには、新しい IP アドレスを使用してください。
- HP の Web サイトへのリンクがあります。HP のロゴをクリックしてください。

HP J3113A 10/100Base-TX プリント サーバー

サポートされているリンク

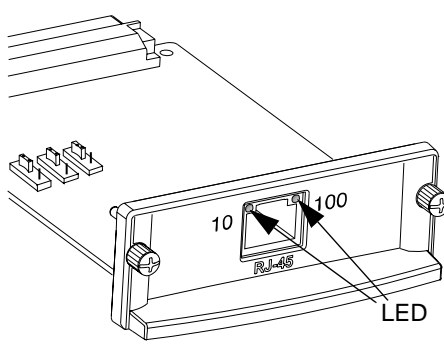
HP J3113A 10/100Base-TX プリント サーバーは、全二重または半二重通信チャネルを使用した、10 または 100Mbps の動作をサポートします。

オートネゴシエーションをサポートしないネットワーク デバイスに接続されると、プリント サーバーは 10 または 100Mbps 半二重動作に設定されます。たとえば、ネゴシエーションを行わない 10Mbps ハブに接続されると、プリント サーバー カードは 10Mbps 半二重で動作するように自動的に設定されます。

カードがオートネゴシエーションによりネットワークに接続できない場合は、カード上のリンク設定ジャンパ(P1、P2、および P3) を使用し、手動でリンク動作モードを設定できます。

リンクスピード LED

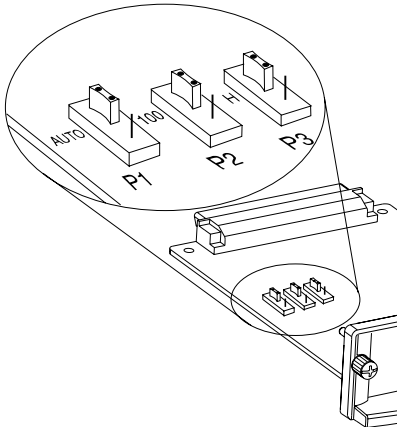
HP J3113A プリント サーバーには、RJ-45 コネクタの近くに 2 つの発光ダイオード (LED) が備わっています。これらの LED はプリント サーバーが動作する際のリンクスピードを示します。

LED ステータス	説明	
オフ、点滅	リンクなし	
オン	10 Mbps、または 100 Mbps でリンクを設定	

A

リンク設定ジャンパの設定

リンク設定ジャンパ (P1、P2、および P3) を使用し、カードを設定できます。オートネゴシエーションによりカードとネットワークの間にリンクを確立できない場合に、これらのジャンパを使用します。P1 を AUTO=OFF 位置に変更すると、P2 はリンクスピード (10 または 100 Mbps) を選択し、P3 は通信モード (半二重または全二重) を選択します。P2 と P3 のジャンパを使用し、カードを手動で設定する場合は、ネットワーク ハブ、またはスイッチなどの接続デバイスの設定に合わせる必要があります。

ジャンパ設定の説明	ジャンパの位置
AUTO = ON (Default)*	
100 Mbps Half-Duplex (AUTO = OFF)	(* 注記: P1 上のジャンパを取り外したり、紛失したりした場合は、カードが AUTO=ON の状態になります。)
100 Mbps Full-Duplex (AUTO = OFF)	
10 Mbps Half-Duplex (AUTO = OFF)	
10 Mbps Full-Duplex (AUTO = OFF)	

リンクのトラブルシューティング

HP J3113A プリント サーバーがネットワークと接続できない場合。

- 両方のリンクスピード LED (10 および 100) がオフまたは点滅します。
- JetDirect 構成ページに “LOSS OF CARRIER ERROR” と表示されます。

注記 HP J3113A 10/100Base-TX プリント サーバーは、ネットワークとの接続を確立するまでに最高 10 秒かかる場合があります。

以下のトラブルシューティングの手順を実行します。

- ケーブルの接続を確認します。
- ジャンパ P1、P2、および P3 を使用し、プリント サーバーを手動で設定します。接続しているネットワーク デバイス (ネットワーク スイッチなど) の設定が一致していることを確認します。たとえば、サーバーを 100Base-TX 全二重に設定した場合、ネットワーク スイッチ上のポートも 100Base-TX 全二重に設定されている必要があります。プリンタの電源が投入されていることを確認します。
- JetDirect 構成ページで、以下のパラメータの設定を比較します。

パラメータ	10/100TX カードで想定されているメッセージ
PORT SELECT:	RJ-45
PORT CONFIG:	100TX HALF, 100TX FULL, 10BASE-T HALF, 10BASE-T FULL
AUTONEG:	ON (ジャンパ P1 が AUTO になっている場合) OFF (ジャンパ P1 が手動設定になっている場)

JetDirect 構成ページの他の設定パラメータとメッセージについては、HP JetDirect CD-ROM に収録されている『HP JetDirect プリント サーバー管理者用ガイド』のトラブルシューティングの章を参照してください。

A

仕様と規制に関するステートメント

電気および環境に関する仕様

HP JetDirect 600 内蔵プリント サーバー

- HP J3110A Ethernet, IEEE 802.3 タイプ 10Base-T (RJ-45)
- HP J3111A Ethernet, IEEE 802.3 タイプ 10Base-T (RJ-45),
タイプ 10Base2 (BNC), および
LocalTalk (Mini-DIN 8)
- HP J3112A Token Ring/IEEE 802.5 (RJ-45 または DB-9)
- HP J3113A Ethernet, IEEE 802.3 および
IEEE 802.3u 10/100Base-TX (RJ-45)

電気

公称 3.3 V で最大 1.25 A

環境

	動作時	非動作時
温度	0°C ~ 55°C (32°F ~ 131°F)	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
相対湿度 (結露なし)	40°C で (104°F) 15% ~ 95%	65°C で (149°F) 15% ~ 90%
最高高度	4600m	4600m

- Ethernet 用 FCC タイトル 47 CFR パート 15 クラス A (LocalTalk のみの場合はクラス B) (米国)
- ICES-003 クラス A (カナダ)
- VCCI クラス A (日本)
- AS/NZS3548 クラス A (オーストラリア、ニュージーランド)
- Ethernet 用 CISPR-22 クラス A (1993)* (LocalTalk のみの場合はクラス B) (全世界、欧州)
- CNS 13438 クラス A (台湾)
- 韓国 EMI 規制、No. 1996-98 クラス A (韓国)

(* 電磁気放射規制に関しては、[B-49](#) ページの「準拠の宣言」を参照。)

規制に関するステートメント

FCC ステートメント

一般。本装置は FCC (連邦通信委員会) 規約のパート 15 に従います。操作は次の 2 条件に従います: (1) 本装置は干渉を発生してはならないこと、および (2) 本装置は望ましくない動作を誘導する干渉を含め、すべての干渉を受けなくてはならないこと。

FCC 規約のパート 15.21 に従い、Hewlett-Packard Company が明示による承認を行っていない装置の変更や修正は干渉を誘導するおそれがあり、本装置を操作する FCC 認可を無効にします。

連邦通信委員会は *Interference Handbook* (1986) という小冊子を発行しており、これが有用な場合があります。この小冊子 (ストック番号 004-000-004505-7) は、Superintendent of Documents, U.S. Government Printing Office, Washington, D.C. 20402 から購入できます。

HP J3112A Token Ring および HP J3110A/J3111A/J3113A Ethernet、または IEEE 802.3/802.3u に関する FCC クラス A。 本装置は試験され、FCC 規約のパート 15 に従うクラス A デジタル装置の制限に準拠することが分っています。これらの制限は商業環境下における干渉に対して合理的な保護を提供するようにデザインされたものです。本装置は、指示どおりにインストールおよび使用を行わない場合、無線通信に対する干渉を発生するおそれのある無線周波数のエネルギーを発生・使用し、放出する場合があります。

本装置を FCC レベル B 製品にインストールし、Ethernet (IEEE 802.3/802.3u)、あるいは Token Ring (IEEE 802.5 ネットワークに接続した場合には、FCC レベル A 混成システム (FCC 規約の定義による) が作成されます。

LocalTalk だけの HP J3111A に関する FCC クラス B。 本装置は試験され、FCC 規約のパート 15 に従うクラス B デジタル装置の制限に準拠することが分っています。これらの制限は、*住宅環境*下における干渉に対して合理的な保護を提供するようにデザインされたものです。本装置は、指示どおりにインストールおよび使用しない場合、無線通信に対する干渉を発生するおそれのある無線周波数のエネルギーを発生・使用し、放出する場合があります。しかし、特定のインストールに関して干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に対して干渉を発生する場合は（これは本装置をオフにしたりオンにしたりすると分ります）、以下の方法で干渉の修正を試みてください。

1. 受信アンテナの方向を変えるか、移動する。
2. 装置と受信機との距離を広げる。
3. 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに、本装置を接続する。
4. 代理店、または経験のあるラジオ/テレビ技師に問い合わせる。

欧州共同体

Ethernet、IEEE 802.3/802.3u 10/100Base-TX、あるいは Token Ring の構成を使用する場合、本装置は EN55022 クラス A に準拠します。

本装置はクラス A 製品です。家庭の環境では、本装置は無線干渉を発生するおそれがあり、使用者は適切な対策を講ずる必要がある場合があります。

準拠の宣言。 以下の準拠の宣言は ISO/IEC ガイド 22、および EN45014 に従っています。ここには製品、製造業者の名前と住所、および EC で認められて、該当する仕様が記載されています。

DECLARATION OF CONFORMITY

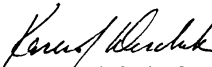
according to ISO/IEC Guide 22 and EN45014

Manufacturer's Name: Hewlett-Packard Company**Manufacturer's Address:** 8000 Foothills Blvd.
Roseville, CA 95747
U.S.A.**declares that the product:****Product Name:** HP JetDirect 600N Print Servers**Model Number:** HP J3110A, J3111A, J3112A, J3113A**conforms to the following Product Specifications:****Safety:** IEC 950:1991+A1,A2 / EN60950 (1992)+A1,A2**EMC:** EN 55022 (1994) / CISPR-22 (1993) class B
EN 55022 (1994) / CISPR-22 (1993) class A *
EN50082-1 (1992)
prEN 55024-2 (1992) / IEC 801-2 (1991) 4 kV CD, 8 kV AD
prEN 55024-3 (1991) / IEC 801-3 (1984), 3 V/m
prEN 55024-4 (1992) / IEC 801-4 (1988): 1 kV-(power line)
0.5 kV-(signal line)**Supplementary Information:**

The product herewith complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and carries the CE marking accordingly.

* The J3110A, J3111A, J3112A, and J3113A with Ethernet/IEEE 802.3/802.3u cables or Token Ring/IEEE 802.5 cables attached are Class-A

Roseville, May 9, 1997



Karen Dorchak, Quality Manager

European Contact: Your local Hewlett-Packard Sales and Service Office or Hewlett-Packard GmbH, Department TRE, Herrenberger Strasse 130, D-71034 Böblingen (FAX: +49-7031-14-3143)

VCCI 第A種 (日本)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



Copyright © 2000
Hewlett-Packard Company
2000 年 8 月シンガポールにて

出版物パーツ番号
5969-6864

